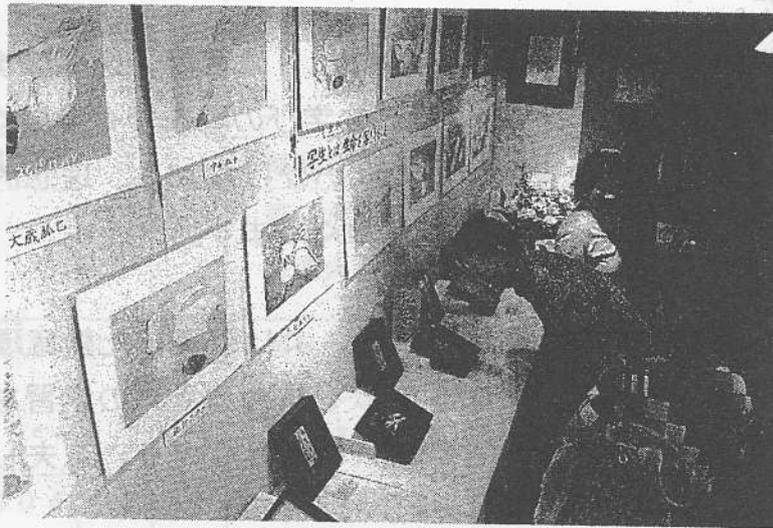


「夜間学級」の作品展

小倉 人生反映した150点並ぶ



生徒やスタッフの個性あふれる作品が並ぶ作品展

北九州市立城南中学校(小倉南区)の教室を使い、ボランティアが自主運営している「夜間学級」の生徒らの作品展が小倉北区紺屋町の喫茶店「エミール」で開かれている。絵画や書、折り本、か

るたなど約150点を展示。それぞれが生きてきた人生を反映した作品からは学ぶ喜びと意欲が感じられる。

城南中の自主夜間学級は98年に週1日の「よみかき教室・城野」として城野公民館で始

まった。02年から城南中の教室が使えるようになり、05年から週5日制となって夜間学級と改称。元教員などスタッフがボランティアで学習を支え、10〜70代の約20人が学ぶ。

作品展は創立12周年を記念したもので、ここ3年の美術の授業で制作した作品を展示。学級の活動を紹介する文集や写真なども置かれている。

「私の宝もの」というテーマでかまぼこ板に絵を描いた作品では「笑顔」「犬」「日本国憲法」などの「宝もの」が並ぶ。小さな折り本には、「まだまだかんじもよくかけないですけど、みなさんのちからをかりていっしょうけんめいがんばります」「学

級との出会いは私へのプレゼント」など学級への思いが記されている。

美術の授業を指導した元中学校教諭の安高純代さん(68)は「生徒さんたちは熱心で、集中力がすごい。これまでの人生が表現されている」と語る。ある生徒は「自分たちの作品を見て感動した。何でもないよう絵と想っていたが、正規な場所に飾ると見栄えがし、『え、本当にこれが自分たちの作品』と思った」と作品展を見た感想をつづっている。

5月1日まで。午前11時〜午後6時(最終日は午後3時まで)。問い合わせは事務局の林静一路さん(080・3946・1895)。

【佐藤敬一】